

A graphic of a scroll with a black outline and a grey shadow. The scroll is unrolled, showing text centered on a white background. The text is in black and includes the year, the fiscal year, the organization's name, and the title of the report.

2022年度

(令和4年度)

社会福祉法人イリアンソス

事業報告

目次

第1 2022年度イリアンソス事業報告について

1. 法人の理念
2. 情勢展望
3. 法人事業
5. 法人運営
 - (1) 法人役員
 - (2) 職員体制
 - (3) 理事会・評議会
 - (4) 法人会議
 - (5) 家族会
 - (6) 研修
 - (7) 施設整備
 - (8) 職員採用
 - (9) 担当者会

第2 事業別

1. 日中支援部門
 - (1) 重点課題
 - (2) 各事業所
 - 1) のぞみの家
 - 2) 活動センターかなえ
 - 3) なかまの家
2. 生活部門
 - (1) 重点課題
 - (2) 各事業所
 - 1) 生活寮そら
 - 2) 生活寮にじ・かぜ短期入所
3. 余暇・居宅・相談部門
 - (1) 重点課題
 - (2) 各事業所
 - 1) 放課後等デイサービス
 - 2) 移動支援事業
 - 3) 日中一時支援事業
4. 相談支援事業
 - (1) 重点課題
5. 事務部門
 - (1) 重点課題

第1 2022年度 イリアンソス 事業報告について

1. 法人の理念

- 1 障害のある利用者一人一人を「主人公」として、生きてきたそれぞれの歴史を大切に、これからの人生を共に考えていくことのできるきめの細かい丁寧な実践をすすめます。
- 2 職員一人一人が見通しと目標を持って仕事に立ち向かい、自らの成長への願いと力量を高めていくことのできる職場づくりをすすめます。
- 3 利用者、家族、職員、役員など法人を構成する一人一人の意見が決定の過程に反映され、理解と納得のもとに実行に移していくことのできる組織運営をすすめます。
- 4 時代の変化や地域の要請に応えていくことのできる法人、施設として経営基盤の確立を求めつつ新たな事業展開をしていきます。

2. 情勢展望

令和5年3月23日の大阪高等裁判所は、旧優生保護法に基づく優生手術の被害者に対して国は憲法の理念に著しく反するとして国家賠償を命じました。これにより全国の旧優性保護訴訟裁判は7件目の被害者勝訴判決となり、そのうち4件目が高裁での逆転勝訴判決となりました。しかし、この旧優性保護法は戦後48年間もの長きに渡り、国民に優生上の差別を強いてきている事実を忘れてはいけません。この法律は、優生手術を受けた被害者のみならず、社会全体に国に貢献できない者を不良な人間として見做してきました。その明確な事実が昨年8月22日23日に行なわれた国連障害者権利委員会での審査報告である総括所見・改善勧告（9月9日公表）です。その内容は日本政府が2014年に障害者権利条約を批准して、条約に基づきどのような取り組みをしてきたのかを指摘しています。それは、障害施策にとどまらず、日本社会のあり方や予算措置など、あらゆる方向から障害のある人をめぐる課題を根本的に問いただし、改善を求めるなど、障害のある人が人生の主人公として暮らせる社会の実現に向けて、懸念される事柄やその解決に向けた方法について言及しています。その特徴として、勧告部分の冒頭で、障害分野に関する政策（法律や施策）が父権主義（政府仮約は温情主義）や優生思想、非障害者主義をベースとしていること、また障害のある人を人権の主体とみなさないなど「障害の人権モデルと調和しない」と政府の姿勢を批判しています。この国連の評価は日本の障害福祉を大きく変えていく力ではありますが、日本の多くの人たちにこの事実を伝えていかなければ、今の政府は「総括所見には法的拘束力はない」と開き直ったまま、他の人権条約と同じような扱いになってしまいます。

さらに政府の父権主義（政府仮約は温情主義）である政策は、障害者の65歳問題にも通じ、新型コロナ対策でも実感してきていることではないでしょうか。

わたしたちは、障害のある人たちの暮らしを支えていくことを通して、やはり国の責任を明らかにしていくことが大切だと実感しています。これからも、だれもが安心できる社会を実現するために、社会のあらゆる人たちと連携し学び、人権を大切に作る社会を実現していくことを強く訴えていきます。

3. 法人事業

(1) 一人ひとりの利用者に合わせた支援を行なうために

昨年度同様、新型コロナ感染状況の中でも、スタッフや利用者、家族の協力のもと、おおむね通常の活動、暮らしの支援を継続的に続けていくことができました。また、旅行などの行事が行えない状況ではありましたが、事業所内でできる範囲で利用者が楽しめる企画を行なうことができました。引き続き新型コロナが終息するまで、利用者家族、スタッフ一人ひとりの命を守る取り組みをめざしていきます。

(2) 人材確保と育成

職員不足を解消するために、あらたにコンサルティング会社と契約し、常時職員募集をおこなってきました。その結果、新年度において2名の新人職員を迎えることができました。そして、サービス管理責任者の継続研修も3人更新ができました。これからも障害のある人たちの暮らし全般を支援していくために、今後も職員にさまざまな事業を体験して機会を設けていきます。

(3) 事務の一本化の実現と事業の連携

事務の1本化を実施し、勤怠ソフトを導入することで、職員1人ひとりが法人内での支援業務を行えるような環境を整えてきています。また、新型コロナ禍でも事務が滞ることなく、事業所間で協力して業務を遂行することができました。

(4) 専門職との更なる連携

法人との委託契約で定期的に各事業所に派遣している訪問看護ステーションと引き続き利用者の健康や訓練を通して支援の充実を図ってきました。

(5) 利用者・家族会の意見を反映

コロナ禍のなか全体家族会は1回のみとなりました。引き続き感染については、各事業所を通して家族の意向等聞きながら、自主送迎なども可能な家庭にはお願いしました。また、特定相談を本格的に実施し、少しずつ家庭訪問をさせていただき家族や利用者の意向を聞き事業所と共有することができました。

(6) なかまの家の改修

東久留米市からは年度当初に建物の修繕個所の確認など実施されましたが、計画的な修繕や抜本的な改修には至りませんでした。引き続き実態を伝え、利用者・家族が安全・安心して通える事業所を実現できるよう各方面に働きかけていきます。

4. 法人運営

(1) 法人役員

1) 理事・監事

ア. 定数 理事 6人 監事 2人

イ. 任期 令和3年6月～2年後の定時評議員会終了まで

2) 評議員

ア. 定数 7人

イ. 任期 令和3年6月～4年後の定時評議員会終了まで

3) 評議員選任解任委員

ア. 定数 2人

イ. 任期 令和3年6月～4年後の定時評議会終了まで

4) 法人事務局員 2名

(2) 職員体制

		常勤（上段）					
		非常勤（下段,カッコ内の数字はパート）					
		施設長	サビ管	主任	支援員	事務	小計
日中支援部門	のぞみの家	1	1	1	4		7
					3 (20)	(1)	3 (21)
	かなえ	①	①	2	5 (内一人育休)		8
					4 (24①)	1 (1)	5 (25①)
なかまの家	①		2	2		4	
				1 (7)	1	2 (7)	
生活寮部門	うみ	1	1		3 (内欠1)	1 (1)	16 (内欠2) (19)
				(8)			
	そら			3			
			(2)				
にじ		1	3 (内欠1)				
			(5)				
かぜ		1	2				
			(3)				
余暇・居宅・相談部門	このみ	①	1	1		2	
				1 (9)	((①))	1 (10)	
	相談支援	①	1			1	
				(5)	((①))	(6)	
			①	((①))	1		
					(2)		

※○に数字は兼任 欠は欠員

※サビ管はサービス管理責任者の略

※放課後＝放課後等デイサービス

※移支＝移動支援事業

※かなえ＝活動センターかなえ

※日中＝日中一時支援事業

※相支＝イリアンソス相談支援センター

(3) 評議員会・理事会

1) 評議員会

回数	日にち	出席者	議事内容	
1	6月24日	評議員 5名 理事 2名 監事 2名	報告	理事長報告 処遇改善金について 内部監査について 経理規定の変更について
			審議	2021年度事業報告の承認について 2021年度決算報告の承認について
2	3月23日	評議員 5名 理事 2名 監事 1名	報告	理事長報告 2022年度補正予算について 2023年度事業計画について 2023年度当初予算について

2) 理事会

回数	日にち	出席者	議事内容	
1	6月9日	理事 5名 監事 2名	報告	理事長報告 処遇改善金について
			審議	令和3年度事業報告(案)について 令和3年度決算報告(案)について 令和3年度監査報告について 定時評議員会開催について 経理規定変更(案)について
2	9月15日	理事 5名 監事 2名	報告	理事長報告
			審議	パートタイマー就業規則について
4	12月15日	理事 4名 監事 1名	報告	理事長報告
			審議	補正予算(案)について 第2回評議員会開催について
5	3月23日	理事 6名 監事 2名	報告	理事長報告
			審議	2022年度補正予算(案)について 2023年度事業計画(案)について 2023年度当初予算(案)について イリアンソス身体拘束適正化指針(案)について

(4) 法人会議

1) 部門長会議 月1回 理事長、各部門責任者で法人や部門事業所の課題の確認を行ないました。

2) 法人事務局会議 月2回 理事長、各施設管理者 法人運営を中心に実施

(5) 家族会

法人全体の家族会を行ないました。法人運営についてや新任職員の紹介、各事業所の取り組みなどを伝えました。

(6) 研修

各事業所では、リモート研修も含め所属施設長と相談しながら積極的に参加しました(別紙)。今まで外部研修に参加が難しかった生活寮もシフトを工夫しながら参加することができました。このみは体制が整わず内部研修の参加にとどまりましたが、通所事業所とも研修会の情報交換しながら学習の機会を持つことが課題です。

1) 新人職員研修:

- ①法人の歴史と理念と目指すもの
- ②法人職員として大切なこと
- ③各事業所のとりくみと大切にしていること
- ④現場見学または実習の講座を行ないました。

2) 法人職員研修: 虐待防止委員会と連携し、2月4日まろにえホールにおいて「障害のある人の個人情報について」秋野弁護士に講演していただきました。講演をもとに生活寮やこのみ、通所事業所の職員が混ざり合い日ごろに支援について悩んでいることや困っていることなどを話し合いました。利用者支援について権利擁護の視点で意見を出し合うことができました。

(7) 施設整備

1) のぞみの家

ア. 車両

事業総額 3,490,000円(税込)

イ. LED電機交換工事

事業総額 1,890,000円(税込)

ウ. 自動水栓化工事

事業総額 432,300円(税込)

2) 活動センターかなえ

ア. 修繕工事

今年度は印刷機の故障における修理を2回おこなっています。印刷機やコピー機の不調が多くなっているため、再リースとの検討が必要です。

3) なかまの家

ア. 修繕・改修

年度当初に担当課と一緒に建物内外を確認し修繕・改修箇所を確認しました。夏季に暑さのため火災報知器が連日誤作動し担当課に相談・修繕の依頼をいたしました。行政の内部調整のため完了まで時間がかかりましたが対応して頂きました。また市の予算不足のため他の個所の修繕は見送りとなりました。

4) 生活寮

ア. そら浴室 クロス張替え

事業総額 226,776円(税込)

5) このみ

ア. 健康管理の為の備品購入(テント)

庭に日を遮るものが少ないので、利用者の健康管理のためのテントを共同募金会のB配分に申請し購入しました。

事業総額 269,000円
(一部、共同募金会の助成より)

(8) 職員採用

令和4年度は1名の常勤職員と2名の非常勤職員を中途採用者として迎えることが出来ました。また、令和5年度新卒採用者として2名内定をだしました。さらに障害のある人が働きやすい「超時短労働」として、施設内の清掃を行なうなどの障害者雇用も行なうことができました。

(9) 担当者会

1) 防災環境

ア. ヒヤリハット・事故報告書の共有

各事業所から報告されるヒヤリハットや事故報告書の内容を共有して、各事業所で防止策を検討することができた。

イ. 防災について

BCPの作成を中心に火災や地震だけでなく、大地震や水害なども想定し実践的な避難訓練を消防署とも連携しながら取り組むことができた。

ウ. 環境について

定期的ではないもののラウンドを行ない、修繕など環境の整備につなげる事ができた。

2) 健康衛生

ア. 情報の共有について

生活寮の担当者や栄養士等を加え、利用者の健康状態や通院、事業所での感染状況など情報の共有をいたしました。

イ. 保健衛生について

感染症対策の正しい知識を理解できるよう担当者の研修への参加などに努めました。

ウ. 健康について

「高齢化」「口腔ケア」「食事提供」「医療」について各事業所での取り組み状況や課題を出し合い、お互いの事業所での支援につながるよう情報交換をしました。

3) 車両送迎

ア. 車両購入について

車両管理表を基に入れ替えが必要な車両を確認しました。今年度は赤い羽根共同募金の申請が通り、1台、キャラバンを購入しました。

イ. 車両整備について

各施設で1年点検対象車を決め、1年点検を行ないました。点検したことで走行中の整備不良などはなく、安全に運行する事ができました。

4) 広報部会

ア. ホームページ掲載について

ホームページの事業所紹介を継続しておこなっていきました。広報誌の掲載と活動の様子なども掲載しながら情報発信していきました。今後、写真と共に動画の活用も工夫していきます。

イ. 内容の充実について

方針に掲げた会員に対してのアンケート実施が未達成でした。新たな意見や視点を取り入れながら、多くの人に見てもらえる内容としていきます。秋号では座談会「意思決定支援を考える」を実施して現場の声を発信することができました。様々な角度から発信できる内容としていきます。

5) 虐待防止委員会

ア. 委員会を機能させます

年に3回の委員会を開催しました。その内の1回は身体拘束適正化検討委員会の開催としました。各事業所から具体的な拘束場面や支援方法を報告してもらい、解除の為の支援方法の検討と実施もできました。より、具体的な方法についての議論ができました。

第2 事業別計画

1. 日中支援部門

(1) 重点課題

1) 喫茶事業は新型コロナウイルス感染防止対策を徹底しながら、利用者の働く場と地域の方々の憩いの場として継続して開店、営業することができました。活動センターかなえのちゅーりっぷ班の利用者も喫茶業務にかかわる機会が増えてきました。

2) 利用者の健康管理や身体機能保持のため看護師をはじめ OT や PT も安定してきました。今後は、専門職のスタッフが利用者の健康や身体機能について提案できるしぐみを整えることが必要です。

3) 各担当者会を軸に利用者の安全や安心を保障できる環境づくりをおこなってきました。新型コロナ対策や事業継続計画づくり、安全に送迎するための規則づくりなど具体的な話し合いができました。また、生活寮やこのみにも情報提供や各会議に参加できるように工夫してきました。

4) 様々な研修の機会があり職員は積極的に研修会に参加をしています。新型コロナウイルス対策についても引き続き専門的な知識を深めています。サービス管理責任者の研修の機会も増えていますが、サービス管理責任者でなくても障害者支援に必要な知識やリーダーシップを具体的に発揮することなどが求められています。また、強度行動障害研修の参加者も増えており専門的な知識を具体的に現場に生かすことが必要です。

5) 今年度は通所のサービス管理責任者の会議を定期的で開催しました。サービス提供の記録や新型コロナ対策など事業所運営に必要なことについても共有し改善することができました。

(2) 各事業所

1) のぞみの家

ア. 運営状況

(ア) 開所日数 240日

(イ) 在籍者数 1日平均22.13人

(ウ) 平均工賃 月1,717円 賞与4,000円

(エ) 工賃総額 工賃総額590,520円

イ. 利用者の状況 (2023年3月31日現在)

(ア) 人数構成

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
チャレンジ班	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7
たんぽぽ班	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8
おひさま班	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9
合計	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24

(イ) 居住地別

	東久留米	東村山	杉並	合計
チャレンジ班	5	1	1	7
たんぽぽ班	6	2		8
おひさま班	8	1		9
合計	19	4	1	24

(ウ) 生活拠点別

	自宅 (家族同居)	自宅 (1人暮らし)	生活寮	合計
チャレンジ班	1	1	5	7
たんぽぽ班	2		6	8
おひさま班	4		5	9
合計	7	1	16	24

(エ) 年齢構成

	性別	～	～	～	～	～40	～	～	51	計
		20	25	30	35		45	50	～	
チャレンジ班	男				1		1	1	1	4
	女					1			2	3
たんぽぽ班	男					2		2		4
	女				1		2	1		4
おひさま班	男				1			1		2
	女			1	2	1	1		2	7
合計				1	5	4	4	5	5	
平均年齢		男性 4 4. 5 歳			女性 4 3. 4 歳			合計 4 3. 9 歳		

(オ) 障害区分

ア) 手帳

身体障害者 及び 知的障害者		愛の手帳 (知的障害)						
		1 度	2 度	3 度	4 度	なし	合計	
身体 障害者 手帳	1 種	1 級	4	6		3	2	15
		2 級	1	2			1	4
		3 級		1				1
		4 級		1				1
	2 種	5 級		2				2
	なし					1		1
	合計		5	12		4	3	24

イ) 障害支援区分

	区分 6	区分 5	区分 4	区分 3	区分 2	区分 1	合計
チャレンジ班	4	2		1			7
たんぽぽ班	8						8
おひさま班	9						9
合計	21	2		1			24

障害・疾患 (医療的ケア) の内容

脳性まひ 体幹機能障害 知的障害 視力障害 聴力障害 言語障害

てんかん レノクス症候群 小頭症 脳梗塞 捻転ジストニア レット症候群

自閉症 脊髄損傷 その他

(カ) 車いすの使用状況

利用状況		チャレンジ班	たんぽぽ班	おひさま班	合計
常時	自力移動可	3			3
	自力移動不可	1		8	9
状況により	外出時使用	2	5	1	8
	その他				
独歩	要介助	1	3		4
	独歩				
合計		7	8	9	24

ウ. スタッフの状況 (2023年3月31日現在)

(ア) 各会議・打ち合わせ

会議名	参加スタッフ	開催頻度
職員会議	施設長、正規職員、非常勤職員	毎月1回
現場会議	正規職員、非常勤職員	毎週1回
アセスメント モニタリング 会議	サービス管理責任者、主任、担当職員	随時
班会議	サービス管理責任者、各班主任、各班担当職員	毎月1回
保健・車両・防災	看護師、栄養士(保健衛生のみ)、担当職員	毎月1回
寮との連携会議	施設長、サービス管理責任者	毎月1回

(イ) 運営体制 (述べ人数)

職名	常勤	非常勤	パート	委託	合計	備考
施設長	1				1	
サービス管理責任者	1				1	
事務	1		1		2	
支援員	5	3	1 3		2 1	
調理員		1 (栄養士)	1		2	
運転手				4	4	
嘱託医		1			1	3ヶ月1回
看護師				1	1	月1回
理学療法士				1	1	月1回
会計				1	1	月1回以上
労務士				1	1	適宜
清掃				1	1	年6回
合計	8	5	1 5	9	3 6	

エ. 重点課題

(ア) 会議の目的を明確にして決定事項を支援に反映していきます。

各会議で活発な意見交換ができ職員間で情報共有の場となりましたが、決定事項の実施までに時間がかかることも多くありました。会議の目的を再度確認し、職員だけでなくパートスタッフにも情報伝達できる仕組みが必要です。

(イ) 利用者の健康維持のために他機関と連携していきます。

法人の担当者会議で健康に関する情報を共有し、また通院同行や看護師、PT来所時に利用者の状況伝えながら必要な相談をしました。感染予防、感染症発生時の対応は法人のBCPに沿って行ないました。

(ウ) 利用者の権利擁護、尊厳についての学びを深めていきます。

利用者の積み上げてきた歴史、家族の思い、障害特性など職員が利用者理解を深められるよう取り組みました。また、法人研修、社会福祉従事者人権研修を受け、権利擁護、人権侵害について学びました。

(エ) 環境整備を行ないます。

積極的にヒヤリハットを出し、環境整備、事故防止に努めました。各階ごとに環境ラウンドを行ない利用者目線の安全を考えました。

また、駐車場での出入りの際、通学路になっているため、必ず2人体制で動かすようにしましたが、駐車場の拡大が必要だと考え、検討をおこなっています。

オ. 各班の重点課題

(ア) チャレンジドリームズ班

ア) 人とのつながりを通して社会参加します。

引き続きコロナの状況を考慮しながら物品の配達時は感染対策を行ない、直接お客様のもとへ配達ができました。ケーキ販売を地域で拡充していくことを検討しています。

イ) 個々の力が発揮できるような仕事内容と仕事環境を考えます。

利用者それぞれが担当している仕事のスケジュールを朝の会や自治会で共有し、またお互いが作業しやすい環境を作りました。

(イ) 元気なたんぽぽ班

ア) 個々の状態に合わせた健康づくりを行ないます。

歩行や体重など、年齢とともに健康上の課題が少しずつ浮かび上がっています。永く自立歩行するためのフットケアや便秘解消のためのケアを行ないました。その成果としてしもやけやむくみの解消、定期的な排便がみられています。

イ) 見通しの持てる活動を通して、主体的な姿を引き出します。

見通しを持って安心して取り組めるよう、写真の活用や伝え方など利用者にとってわかりやすさを考えました。やりがいを持って活動できています。

(ウ) おひさま班

ア) 絵画活動を通して社会参加します。

それぞれの身体機能が発揮できる絵画方法の見直しをしました。また、新たな展示場所としてのぞみの家の駐車場で作品展を開催したことで地域住民との繋がりを作ることが出来ました。

イ) 専門家や家庭、寮と連携をとりながら健康管理、機能維持に努めます。

年齢とともに身体の変化が見られます。看護師や嘱託医、PT、通院同行による情報収集をし、心身の変化に対応しました。また、専門家からのアドバイスをマニュアル等で周知し、全体で統一した丁寧な健康管理、機能維持が出来ました。

カ. 仕事

(ア) 自主製品 売り上げ 115,450円

多くの人に仕事内容を伝えられるよう、作品展を通して活動を物品販売時のチラシ作りに力をいれました。作品展にて販売を行ないました。

(イ) ケーキ 売り上げ 328,050円

新型コロナ感染状況を確認しながらケーキ製造内容を利用者主体で検討し予定作成をしました。“カフェてん”への納品も継続しています。地域での注文販売にむけてチラシの工夫や販売内容を考えていきます。

(ウ) 喫茶 売り上げ 0円

新型コロナ感染拡大によりコーヒー等の販売は行ないませんでした。今後継続するのか検討していきます。

(エ) お茶・ふきん 売り上げ 140,250円

利用者主体で在庫確認、注文を行ないました。時期に応じたお茶を仕入れ、物品販売時や作品展にて販売を行ないました。

(オ) おむつ 売り上げ 1,145,232円

担当者と連携し、お金のミスが無いように取り組みました。利用者の仕事として取り組みやすいように注文書の作成を行ないました。

(カ) データ入力・チラシ配り 売り上げ 0円

コロナ禍で外部とのやり取りを積極的におこなえなかったため、今年は取り組むことができません。

(キ) リサイクル久留店 売り上げ 40円

新型コロナ感染防止のため、バザー品回収、リサイクル久留店の開催は中止しました。今後の活動については検討中です。

(ク) きょうされん物品販売 売り上げ 1,817,670円

今年度も引き続き新型コロナ感染に配慮しながら利用者と一緒に配達、受け渡しを行ないました。また入力作業や電話対応も利用者中心で行ないました。

(ケ) 資源回収 売り上げ 10,250円

のぞみの家の近所の家庭への回収を継続しています。定期的な回収ができています。

キ. その他の活動

(ア) 機能訓練

医療や理学療法士と相談し、高齢化や疾病、個人の体の変化に合わせたストレッチプログラムを作成しました。日常的には楽しくストレッチや歩行訓練を行ない、機能維持に努めました。

(イ) 給食

スチームコンベクション調理をいろいろなやり方を試して食形態の工夫をしました。

(ウ) 旅行

感染症対策から旅行代理店の協力のもと、日帰り旅行（BBQと西武園）を行ないました。いつもの活動とは違う表情が見られ楽しむことができました。のぞみの家に残る利用者に対応する体制が今後の課題です。

(エ) 作品展

より多くの方への周知を目的に新規開催場所を検討していきました。今年度は例年同様“スペース105”で開催しました。来年度再度検討していきます。各班で役割を分担し利用者主体で開催し、2日間の開催で約120人の来客がありました。

(オ) 地域行事

コロナ禍で特別支援学校のお祭りはありませんでしたが、物品販売やケーキ販売などを通して地域との関わりを持てるようにしました。

(カ) 会議

内容や参加者を明確にし職員会議、現場会議、班会議を実施しました。支援計画作成に向けた会議は班の担当だけでなく全職員で参加しました。

(キ) 実習生

介護福祉士・社会福祉士の2校の大学生を受け入れました。感染対策を行ないながら実習を行ないました。社会福祉士の実習生には実際に個別支援計画を立ててもらい、職員で振り返りを行ないました。

介護等体験は新型コロナ感染拡大により中止になりました。

(ク) ボランティア

感染に気を付けながら定期的にボランティアさん3組に来ていただきました。

(ケ) 研修

リスクマネジメント研修等の内容・感想を現場会議で確認できました。

ク. 消防報告

消防署と連携しながら、消防訓練を行ないました。また AED の訓練機器を消防署から借り入れ、広く訓練を行なうことができました。

ケ. 活動の報告

(ア) 1日

時 間	おひさま班・元気なたんぽぽ班・チャレンジドリームズ班	スタッフ
8 : 3 0		朝礼
8 : 4 0		送迎開始及び受入れ準備
9 : 0 0	受入れ	活動支援
10 : 0 0	各班で朝の会・ラジオ体操 室内作業 外作業 (休憩) 室内作業 外作業	
1 2 : 1 5	昼食・休憩	昼食支援
1 3 : 3 0	チャレンジドリームズ班 仕事開始	活動支援
1 4 : 0 0	おひさま班・元気なたんぽぽ班 活動開始 室内作業 外作業	
1 5 : 0 0	帰りの会	
1 6 : 0 0		送迎 掃除
1 7 : 0 0		終礼

(イ) 1週間

	月	火	水	木	金
午前	自治会 和紙作り 売上計算 ケーキ作り	散歩 和紙作り 絵画 売上計算 ケーキ作り	資源回収 和紙作り 絵画 売上計算 ケーキ作り	資源回収 和紙作り 絵画 売上計算 ケーキ作り	売上計算 ケーキ作り 各班でレク
午後	ストレッチ ケーキ作り 音楽活動 散歩	ストレッチ ケーキ作り ゲーム活動 散歩	ストレッチ ケーキ作り ゲーム活動 散歩	ストレッチ ケーキ作り ゲーム活動 散歩	各班でレク

(ウ) 1年間

	のぞみ内 行事	地域行事
4月	きょうされん 春の物品販売	
5月		
6月		国際美術大賞展
7月	きょうされん 夏季物品販売	
8月	きょうされんデザインコンクール応募	
9月		いのちかがやけ作品展
10月	日帰り旅行(バーベキュー)	地域センター祭り
11月	日帰り旅行(西武園) きょうされん冬季物品販売	
12月		
1月		ぴゅあーと展
2月	のぞみの家作品展 きょうされんバレンタイン物品販売	
3月	きょうされんホワイトデー物品販売 がんばろう会(のぞみ屋外で焼肉)	

2) 活動センターかなえ

ア. 運営状況

(ア) 開所日数 240日

(イ) 在籍者数 1日平均24.9人

(ウ) 平均工賃 月 1,600円 賞与 10,000円

(エ) 工賃総額 工賃総額 803,000円

イ. 利用者の状況 (2023年3月31日現在)

(ア) 人数構成

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
なのはな班	6	6	6	6	6	7	7	7	7	7	7	7
だるま班	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8
ちゅーりっぷ班	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7
スマイル班	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6
合計	27	27	27	27	27	28	28	28	28	28	28	28

(イ) 居住地別

	東久留米	他市	合計
なのはな班	7		7
だるま班	8		8
ちゅーりっぷ班	6	1	7
スマイル班	6		6
合計	27	1	28

(ウ) 生活拠点別

	自宅 (家族同居)	生活寮	合計
なのはな班	5	2	5
だるま班	5	3	7
ちゅーりっぷ班	6	1	7
スマイル班	3	3	7
合計	19	9	28

(エ) 年齢構成

	性別	～	～	～	～	～	～	～	51	計
		20	25	30	35	40	45	50	～	
なのはなグループ	男	1	1			1			1	4
	女	1				1			1	3
だるま班	男	1	1		2	2	1			7
	女		1							1
ちゅーりっぷ班	男			1					2	3
	女	1	2			1				4
スマイル班	男		1		1			1		3
	女			1		1			1	3
合計		4	6	2	3	6	1	1	5	28
平均年齢		男性 36.6歳			女性 31.3歳			合計 34歳		

(オ) 障害区分

ア) 手帳

身体障害者 及び 知的障害者		愛の手帳 (知的障害)						
		1度	2度	3度	4度	なし	合計	
身体障害者手帳	1種	1級		1	1			2
		2級		1				1
		3級		1				1
		4級						
	2種	4級	1	1				2
	精神			1			1	
	なし		1	15	5		21	
	合計		2	19	7		28	

イ) 障害支援区分

	区分 6	区分 5	区分 4	区分 3	区分 2	区分 1	合計
なのはなグループ	2	3	2				7
だるま班	7	1					8
ちゅーりっぷ班	3	3	1				7
スマイル班	2	4					6
合計	14	11	3				28

障害・疾患（医療的ケア）の内容

知的障害 視力障害 聴力障害 自閉症 ダウン症 精神障害 てんかん レノックス症候群
脳性マヒによる体幹機能障害 ルビンスタイン・タイビー症候群 動脈管開存症 他

(カ) 車いすの使用状況

利用状況		なのはなグループ	だるま班	ちゅーりっぷ班	スマイル班	合計
常時使用	自力移動可					
	自力移動不可					
状況により	外出時使用		1	1	2	4
	その他					
独歩	見守り介助	6	7	4	4	24
	独歩	1		2		3
合計		7	8	7	6	28

ウ. スタッフの状況 (2023年3月31日現在)

(ア) 各会議・打ち合わせ

会議名	参加スタッフ	開催頻度
職員会議	施設長、正規職員、非常勤職員	毎月1回
アセスメント モニタリング会議	施設長、サービス管理責任者、主任、担当職員	週1回
各班会議	サービス管理責任者、各班主任、各班担当職員	週1回
寮ケース会議	施設長・サービス管理責任者、主任	3ヵ月1回
リーダー会議	施設長・サービス管理責任者、主任	適宜

(イ) 運営体制 (述べ人数)

職名	常勤	非常勤	パート	委託	合計	備考
施設長・サビ管	1				1	
事務		1	1		2	
支援員	5	3	18		26	
運転手			1	1	2	
嘱託医		1			1	4ヶ月1回
看護師			1		1	隔週
会計				1	1	月1回以上
栄養士		1			1	週に1回
労務士				1	1	適宜
清掃			1	1	2	毎日
合計	6	6	23	4	39	

エ. 重点課題

- (ア) 利用者増に伴い、なのはな班は部屋の使い方等の工夫を行ないました。1名の新入所者と、9月に1名の新入所者を迎えることができました。
- (イ) 職員の産休ががあり、年度途中で他事業所より1名の職員が異動してきました。また、年度途中より非常勤職員を1名採用しました。
- (ウ) ちゅーりっぷ班では曜日を固定し喫茶で働くことができました。

オ. 各班の重点課題

(ア) なのはなグループ

- ア) 落ち着いて活動できる環境をつくります。
場面の切り替えや静かに過ごせる環境づくりをできるように取り組みました。外に出たり、時にはベッドで横になったりと利用者一人ひとりに合わせた支援を行った。
- イ) 創作活動を充実させていきます。
新たに絵の具を購入し、絵の具・クレヨンと利用者の取り扱いしやすい物を選び創作活動を行なうことができた。またコンクールや作品展の応募にもエントリーすることができた。
- ウ) 健康の維持・改善 身体機能の維持・改善を図ります。
定期的に身体を動かす活動に取り組むことができた。また、腰痛予防のためのストレッチも継続し、月一度の訪問 OT に普段行えないストレッチをしてもらうなど機能維持も取り組むことができた。また ST による食事指導も行ない食形態の改善も取り組むことができた。
- エ) 昼休みはゆっくりと身体を休めます。
かなえの周りでの散歩で身体を動かす、作業室内で横になって身体を休める、ほかの班に遊びに出向くなどそれぞれが思い思いに過ごせるよう取り組む事ができた。

(イ) だるま班

- ア) 自己表現できる活動として創作活動を充実させます。
制作している利用者に対して肯定的な声掛けを行ない、前向きに取り組めるように支援しています。不足していた絵の具の拡充を行ない、利用者の選択の幅が広がるように環境整備をおこなっています。
- イ) 『グッズデザインコンクール』『ぴゅああーと展』などの作品展に応募します。また発表する場として今年度も『作品展』を開催します。
コロナ対策をし、作品展を開催する事ができました。地域住民や関係者など、多くの方々に作品を見て頂きました。
- ウ) 和紙作りの作業を分担しながら取り組みます。
牛乳パックちぎりから紙すきまでの工程を、班全体で取り組みました。新し

い利用者もちぎり作業に参加しています。おはながみを使用して色が付いた和紙は付箋やメモ帳などに、白い和紙はハガキや年賀状に加工して販売会で販売しました。

エ) 積極的に身体を動かす活動に取り組みます。

全体的に体重が増加傾向にあります。広報配りや空き地整備以外にも休み時間のボール遊びや室内活動中の気分転換でウォーキングに取り組むなどして身体を動かす事が出来ました。

オ) 有意義に昼休みを過ごします。

パズルやボール、画材、ベッド、ヨガマットなどの道具やだるま班の部屋だけでなく、エレベータホールや空き地などを活用して利用者一人一人が有意義に過ごせる環境設定、見守り支援を行ないました。

カ) プール

新型コロナウイルス感染症の影響で市内プールでの活動は実施することができませんでしたが、施設内での水遊びを実施しました。

(ウ) ちゅーりっぷ班

ア) 利用者同士の関わりを大切にし、落ち着いて過ごせる環境をつくり、利用者同士の交流を通して、和やかな雰囲気の中で活動を行ないました。

イ) 屋上スペースを活用し、野菜作りに取り組みました。8種類の野菜(ゴーヤー、ピーマン、唐辛子、ホウレンソウ、スナップエンドウ、小松菜、ラディッシュ)を育てました。育てた野菜は、販売会やカフェてんでの販売、給食の材料として使用しました。水やり、収穫等に利用者も参加し、日々の成長を楽しみに、作業に取り組む事が出来ました。

ウ) 利用者の希望を聞きながら、手芸や創作活動に取り組みました。使用する毛糸の種類や色等は、利用者が選びました。完成した作品は、作品展や販売会、その他グッズデザインコンクール、ぴゅああーと展などに出品しました。

エ) 専門家(医師・OT・看護師・栄養士など)と連携して利用者の健康状況や身体機能の把握、維持に努めました。

(エ) スマイル班

ア) 落ち着いて過ごせる環境をつくるため、スタッフからの不必要な声かけを少なくし待つことで、言葉や紙でスタッフに一生懸命伝えようとしている姿がみられました。朝の会や帰りの会などで利用者同士の関わりを作ることでお互いを意識する様子も見られています。

イ) 今年度新たに布巾の制作を行ないました。布巾に利用者の絵を入れ販売会で販売しました。店番をスタッフと利用者で行ないました。

ウ) 創作活動に取り組みます。

クレヨン・絵の具を利用し創作活動に取り組みました。楽しそうに描いたり、時には集中して描いたりする場面もありました。描いた絵を自主製品の布巾として販売し、嬉しそうにしている利用者の姿がありました。描いている最中に

画用紙がずれてしまうことがあり描きにくそうな様子があるため来年度は画板の購入をします。立体的なものにも取り組んでいきます。

エ) ウォーキング等、体を動かす時間を設けました。活動中に工夫をして時間をつくり交代で施設の周辺を歩いて体を動かしました。

オ) 専門家（医師・OT・看護師・栄養士など）と連携して利用者の健康維持や食事についてアドバイスをもらい取り組んできました。

カ) 有意義に昼休みを過ごします。

ゲームをしたりしてスタッフが入り楽しみながら利用者同士の交流やなどを大切にしました。お昼休みを楽しみにしている利用者の姿が見られました。また、安全に過ごすことができるように見守り支援を行ないました。ストレッチをして身体を動かす取り組みを行ないました。

カ. 仕事

売り上げ目標金額と取り組み内容

(ア) 資源回収・おろし 売り上げ 220,888円

新たな回収先が増え前年度に比べ回収量も増えています。また、卸業者の買い取り単価が高くなった事で収入も計画を上回る事が出来ました。引き続き回収先を増やしていきます。

(イ) 市報配布 売り上げ 328,450円

配布件数の把握を明確に出来るようにするため、配布都度の数を統計できるよう取りまとめを行った。新規先や退去先など配り漏れが無いように情報の共有を行ない取り組むことができた。

(ウ) 自主製品 売り上げ 55,800円

マルフジで、自主製品の販売会を行ないました。販売会を通して、地域の方々やご家族の皆さんに、活動センターかなえの活動を知って頂く機会になりました。利用者の皆さんは、販売会に向けて日々、手芸・和紙作り・創作に取り組みました。

(オ) 物品販売 売り上げ 1,105,500円

きょうされん物品販売のカタログを利用し年4回取り組みました。前年度（売上1,053,059円）に比べて今年度の売上が52,441円増加。毎回利用して頂けるお得意様が少しずつだが増えた。新規先の獲得やお得意様に継続的に利用して頂けるよう引き続き声掛けやお便りなど活用していく。

(エ) 空き地の整備 売り上げ 144,000円

市より公有財産清掃業務委託を受け、空き地内の清掃や除草を行ないました。

(カ) 喫茶

衛生面に細心の注意を払い、利用者のできる事を広げつつ、喫茶で働いている利用者は、接客などを中心に取り組み、ほかの利用者は、布巾掛けやメニュー拭き等の作業、市役所のフロア清掃の作業に取り組みました。

キ. その他の活動

(ア) 調理・レクリエーション

レクは月に1回、調理は班ごとに4ヶ月に1回ローテーションで取り組みました。新型コロナウイルス感染症の感染状況により、変更や中止になる事もありましたが利用者の意見を聞きながら取り組んでいます。レクは可能な限り外出をしましたが感染拡大時には室内でゲームを行ない楽しみました。調理では個々に調理器具を用意する等、感染対策を行なった上で安全に取り組める工夫をしています。

(イ) 旅行

新型コロナウイルスの感染状況を踏まえ、今年度は班ごとの日帰り旅行を予定していましたが、感染拡大が続いたため利用者の健康と安全を最優先に考え実施することを控えました。

(ウ) クラブ活動「フラワーセラピー」

コロナ感染拡大に伴い2ヶ月に1度の開催をすることはできず、年間2回の開催に留まったが、開催時には利用者それぞれ思い思い取り組むことが出来た。また、3年ぶりに講師の先生にも来所してもらい指導を受けることができた。

(エ) 散歩・ウォーキング

コロナ禍の中、散歩やウォーキングは外の空気を吸いのんびりと歩く事で気分転換につながりました。また、ウォーキングは一定のペースで歩く事で体を動かし体力維持を目的に行ないました。利用者の様子を見ながら昼休みや活動の中で取り組んでいます。

(オ) 昼食

家庭や栄養士と相談し昼食弁当の量を調整し、咀嚼が難しい利用者の食形態を変更するなどの配慮を引き続きおこなっています。また利用者の要望を取り入れ、月に二回、カレーや中華丼など栄養士と相談し旬の野菜を使った給食も定着しています。時には、ちゅーりっぷ班が屋上で栽培した野菜も入るなど利用者の喜びにもつながっています。

ク. 消防報告

年間予定表を作成し、毎月一回の避難訓練を実施することができた。職員と利用者で身の安全の確保や避難経路の確保などをスタッフ間で確認した。総合訓練では消防署が来所し、日ごろの訓練状況をみてもらいエレベーターの使用などの指導を受けた。非常食を食べる訓練も並行して行った。また、BCP作成の取り組みを進めている。

ケ. 活動の報告

(ア) 1日

時 間	なのはなグループ・だるま班・ ちゅーりっぷ班・スマイル班	スタッフ
8:30～ 8:40～	受け入れ開始	朝礼 送迎開始、受け入れ支援 準備、会議等
10:30	朝の会・ラジオ体操 室内作業 外作業 (休憩) 室内作業 外作業	活動支援
12:00	昼食・休憩	昼食支援 片付け、活動準備
14:00	室内作業 外作業 (休憩) 室内作業 外作業	活動支援
15:00	帰りの会	
15:30	送迎	送迎、片付け
16:00	利用終了	会議
16:50		終礼 事務作業

(イ) 1週間

	月	火	水	木	金
午前	外作業 資源回収 室内作業 ウォーキング Café てん	外作業 室内作業 ウォーキング Café てん	外作業 資源回収 室内作業 ウォーキング Café てん	外作業 室内作業 ウォーキング Café てん	外作業 室内作業 ウォーキング Café てん
午後	外作業 資源おろし 室内作業 創作 ウォーキング Café てん	外作業 創作 ウォーキング Café てん ※自治会	外作業 資源おろし 室内作業 創作 ウォーキング Café てん	外作業 室内作業 創作 ウォーキング Café てん	外作業 室内作業 創作 ウォーキング Café てん

- ・外作業…広報(チラシ)配布、空き地整備
- ・室内作業…和紙製作、さきおり、手芸、広報(チラシ)折り
- ※自治会…週1回実施 ※調理…月1回実施(感染症拡大防止のため内容を縮小し実施)

(ウ) 1年間

月	事業所内の行事	地域などの行事
4月	歓迎会（規模を縮小して開催）	
5月		
6月	なのはなグループ日帰り行事（中止）	
7月	だるま班日帰り行事（中止） きょうされん夏季物品販売	
8月	きょうされんデザインコンクール作品応募 夏季休業	
9月	ちゅーりっぷ班日帰り行事（中止）	いのちかがやけ作品展
10月	新入所者・成人を祝う会(法人全体) （規模を縮小して開催） スマイル班日帰り行事（中止）	きょうされん全国大会
11月	きょうされん冬季物品販売 手づくり品販売会開催	
12月	ぴゅああーと展作品応募、クリスマス会 利用者健康診断実施 冬期休業	
1月	きょうされんバレンタイン物品販売 「わたしたちの作品展」開催	
2月		ぴゅああーと展
3月	きょうされん春季物品販売、ボーナス支給	

・毎月1回…各班レクリエーション、体重血圧測定、避難訓練、給料日など

3) なかまの家

ア. 運営状況

- (ア) 開所日数 240日
- (イ) 在籍者数 1日平均13.5人
- (ウ) 平均工賃 月2,000円 賞与10,500円
- (エ) 工賃総額 工賃総額 483,000円

イ. 利用者の状況 (2023年3月31日現在)

(ア) 人数構成

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
さくら班	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8
りんご班	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6
合計	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14

(イ) 居住地別

	東久留米市	西東京市	清瀬市	合計
さくら班	7	1		8
りんご班	5		1	6
合計	12	1	1	14

(ウ) 生活拠点別

	自宅 (家族同居)	自宅 (1人暮らし)	生活寮	合計
さくら班	3		5	8
りんご班	5		1	6
合計	8		6	14

(エ) 年齢構成

	性別	～20	～25	～30	～35	～40	～45	～50	51～	計
	さくら班	男					1	1	1	2
女					1			2		3
りんご班	男				2		1	2		5
	女						1			1
合計					3	1	3	5	2	14
平均年齢		男性 43.4 歳			女性 43 歳			合計 43.2 歳		

(オ) 障害区分

ア) 手帳

身体障害者 及び知的障害 者		愛の手帳（知的障害）						
		1度	2度	3度	4度	なし	合計	
身体 障害 者 手 帳	1 種	1級		2	1			3
		2級		1				1
		3級		1				1
	2 種	2級						
		3級		1				1
		4級						
	なし			8				8
合計			13	1			14	

イ) 障害支援区分

	区分6	区分5	区分4	区分3	区分2	区分1	合計
さくら班	6	1	1				8
りんご班	6						6
合計	11	1	1				14

障害・疾患（医療的ケア）の内容

知的障害 視力障害 聴力障害 てんかん 自閉症 ダウン症
 第五染色体異常症 脳性マヒによる体幹機能障害 その他

(カ) 車いすの使用状況

利用状況		さくら班	りんご班	合計
常時使用	自力移動可			
	自力移動不可		2	2
状況により 使用	外出時使用	1		1
	その他	1		1
独歩	要介助	6	4	10
	独歩			
合計		8	6	14

ウ. スタッフの状況 (2023年3月31日現在)

(ア) 各会議・打ち合わせ

会議名	参加スタッフ	開催頻度
職員会議	施設長、全職員	毎月1回
支援会議	サービス管理責任者、主任、職員、	毎月1回
活動会議	主任、職員	毎月1回
リーダー会議	施設長、主任、職員(ローテーション)	週1回
健康・防災・車両 きょうされん	各担当職員	毎月1回
寮支援者会議	サービス管理責任者、担当職員、寮職員	2ヶ月1回
モニタリング会議	サービス管理責任者、担当職員、職員	随時

(イ) 運営体制 (述べ人数)

職名	常勤	非常勤	パート	委託	合計	備考
施設長	1				1	
サービス管理責任者	1				1	兼務
事務		1			1	
支援員	4	1	7		13	
運転手				1	1	委託
嘱託医		1			1	3ヶ月1回
看護師		1		1	2	1ヶ月2回
作業療法士				1	1	1ヵ月1回
栄養士		1			1	1週間1回
会計				1	1	1ヶ月1回
労務士				1	1	適宜
清掃				1	1	年3回
合計	5	5	7	6	23	

※施設長・サービス管理責任者は兼務

エ. 重点課題

(ア) 施設内の活動場所の工夫や活動内容の検討をします。

感染状況に応じながら活動場所や内容を工夫して取り組みました。場所の工夫では、体育館の利用や空間をパーティションで仕切るなど行ない、活動では体操や足浴など意識的に身体を動かす内容など取り組みました。また観光バスを貸し切り食事や散策を楽しむなど、久しぶりにのびのびと過ごす行事も取り組みました。

(イ) おいしく安全に給食を提供できるようにしていきます。

給食の委託先を変え温かく食べやすい給食を提供することができました。また、委託先と相談して提供した行事食やデザートなどは、利用者の楽しみとなり好評でした。引き続き定期的な打ち合わせを重ね栄養士とも相談しながら実施していきます。

(ウ) 建物の修繕・改修箇所を提案し必要があれば施設整備します。

年度当初、担当課と老朽化の実態を確認し修繕や改修の提案をしています。夏季には酷暑のため火災報知器が故障し修繕に時間がかかっています。利用者の安全・安心のために引き続き担当課に修繕の必要性を訴えています。

(エ) 活動や業務は、担当者が中心になって実行します。

担当者が中心になって年間計画の作成やガイドラインの見直しをしました。今後は、作成したものを有効活用するために、スタッフ会議や活動前に確認するなどの活用方法の検討が必要です。

(オ) 職員の研修

年間予定や、随時必要な研修を職員それぞれ受講しました。確認不足のため受講日が過ぎてしまい受講できなかった研修があったので、事前の確認など再発防止します。

オ. 各班の重点課題

(ア) **活動全体の重点課題** (感染症対策で例年より小集団の活動とした為)

ア) ガイドラインについては活動会議で見直しを行ないました。現状と課題を職員間で共有しながら更新し、全体に周知しています。その為、利用者一人ひとりに統一した支援が行なえています。

イ) 前期は新しい職員への引き継ぎを重点的に行なった為、外活動が出来ない時期もありましたが、後期は積極的に外活動を取り入れました。足浴などリラクソスのバリエーションも増え、楽しみに待つ利用者の姿も見られています。PTの協力で体操動画を作成し、利用者に合った内容で身体を動かす事が出来ました。

ウ) 活動終了時にまとめの時間を設け取り組んだ内容を発表し合いました。その為、他の利用者を労う姿や周囲に評価され誇らしい表情になる利用者も多く見られるようになっていきます。

カ. 仕事

(ア) 資源回収 売り上げ 144,000円

回収先で笑顔でのあいさつや「ご苦労様」と声をかけてくれたり地域のつながりを感じたりしながら取り組みました。事業所から回収した資源の卸し業者を再検討し回収先の調整を行ないましたが引き続き検討が必要です。また回収した資源を利用者が気にする際に目隠しカバー使用するなど環境設定をしました。

(イ) 缶つぶし 売り上げ ※資源回収に含まれる

空き缶の量が多い時のみですが回数を増やして実施しました。チラシ配りは引き続きおこなっています。缶つぶし機カバー、回収カゴカバー、固定ベルトを購入し環境を整備しました。

(ウ) パック整理・卸し 売り上げ 6,000円

毎月卸しの日を指定して行なう事ができました。作業も準備や片付けなども含めて利用者と一緒に行なう事ができました。

(エ) 市報配布 売り上げ 300,000円

年間計画を作成し期限内に行なう事ができました。また事前の配布場所確認や、配布後の件数把握も取り組みました。選挙公報など予定にない配布については、スケジュールを事前に確認するなど計画的に配布できるように取り組みます。

(オ) チラシ配り 売り上げ 6,000円

進捗状況の確認を行ないながら進める事ができました。昨年度受注した分の残りを今年度の初めに行ない、それ以降は配布作業の受注はありませんでした。

(カ) 自主製品 売り上げ 59,000円

販売会…作品展と合同で開催しました。3年ぶりに会場販売で行ないました。実際に商品を見て購入をしてもらっています。

【手芸】 ランダム刺繍やクロスステッチ、ボード織りなど取り組み、販売会に向けてカバンや巾着袋、ボックスステッシュケースなどの製品を作成しました。在庫のあるピンオープナーの売上アップのためチラシ配布を行ないました。

【陶芸】 干支の置物や大皿、湯呑を作成しました。また、長年の在庫作品を整理し、販売会(作品展)で積極的に販売しました。作品の管理方法が曖昧だった為、作品展での展示や販売時に混乱が生じてしまいました。計画の段階で目的を明確にしています。

(キ) ボーナスへの取り組み 売り上げ 830,000円

新規のお得意様獲得を目指して新しいエリアを中心にカタログを配布しました。夏の物品販売では、2件の新規のお得意様が増えました。地域の応援団が着実に増えています。

(ク) お茶・ペーパー・ふきんの注文・販売 売り上げ 229,000円

お茶販売について物品販売と共同でチラシを配布し取り組みました。トイレ

ットペーパーは保管に場所を取る為、箱売りにスムーズな販売が出来ました。

キ. その他の活動

感染症拡大防止のため「プール活動」「調理活動」は見合わせました。

(ア) 自治活動

帰りの会の時間を利用して「お給料渡し」を行ないました。希望する利用者に給料を渡す係をしてもらい、1人ずつ手渡しで雰囲気を作りながら行なう事ができました。

(イ) 創作活動

作品展…日々の利用者の表現を発表できる場として、3年ぶりに会場での作品展を開催することができました。来場された方には好評をいただきました。

【陶芸】ろくろに触れる機会を増やした事で、粘土の感触が苦手だった利用者も抵抗感がなくなっています。また、固まった土を再利用する為の粘土作りでは好きな利用者が多く、感触を楽しむ事が出来ました。粘土の保管方法については検討が必要です。活動会議で進捗状況や利用者の姿を職員間で定期的に確認し、情報の共有を意識的に行なえました。

【絵画】キャンパス地の取り組みでは、何度も何度も重ね塗りすることで利用者それぞれ、その人らしい色が重なっていきました。作品展でも好評でした。マーブリングでは、抽象的に仕上がる思いもよらない模様「きれ〜」など声があがり、表現する楽しさを共感し利用者の表現を大切にしました。また、創作意欲が引き出せるように、絵の具にはない色を選べるように色カードを作成するなど環境設定に取り組みました。

【手芸】ランダムししゅうやクロスステッチ、ボード織りなど利用者がそれぞれに取り組み易い物を作成しました。引き続き支援方法を工夫しながら新しい製品づくりに取り組みます。そのためにも材料の購入をしていきます。

(ウ) ウォーキング

ウォーキング活動は気候や感染状況に気をつけて行ないました。なかまの家の付近の周回のコースや安全についても確認しました。

(エ) 体操

今年度から大きな画面に体操動画を流しながら、身体を動かす活動を行ないました。ゆっくり伸ばす事を意識したストレッチや音楽のリズムに合わせて身体を動かす等メリハリを付けながら楽しく身体を動かす事が出来ました。準備から楽しみに待つ姿や曲に合わせて歌ったり笑顔も多く見られたりしました。

(オ) 足浴

リラクゼーションと血行促進を目的として足浴を行ないました。初めは抵抗感があった利用者も徐々に慣れ、気持ち良さそうに行なう事ができました。

(カ) マッサージ

車椅子の利用者を中心に身体機能維持を目的としたマッサージを行ないました。介護ベッドだけではなく、リフトを積極的に利用し赤マットでも身体を伸ばす時間をつくりました。PTが作成した手順書に沿って一人ひとりに合った内容で行ないました。

(キ) レクリエーション

感染症予防と安全に配慮ながら取り組みました。わくわく健康プラザの体育館を借りてのレクや、12月のクリスマスシーズンには、昼食を委託業者とやり取りをして特別メニューにしてもらうなど新しい取り組みもしました。日常の中では見られない利用者の表情も見ることができました。

月	1 班	2 班	3 班
4 月	お好み弁当		
5 月	小金井公園	小金井公園	小金井公園
6 月	わくわく体育館	わくわく体育館	わくわく体育館
7 月	小金井公園	小金井公園	小金井公園
8 月	スイカ割り ※感染拡大の為に楽しみ昼食のみ実施した。		
9 月	小金井公園	小金井公園	小金井公園
10 月	日帰り旅行	日帰り旅行	日帰り旅行
11 月	小金井公園 ※旅行に行かなかった人で実施した。		
12 月	クリスマス会		
1 月	初詣(東伏見稲荷)	初詣(東伏見稲荷)	初詣(東伏見稲荷)
2 月	豆まき会		
3 月	小金井公園	小金井公園	小金井公園

(ク) 旅行

感染症対策を行ないながら、バスを貸切り、日帰り旅行を行なう事ができました。いつもは味わえないホテルの高級中華料理に利用者の良い表情が見られました。安心して楽しめるように年間計画・スケジュール管理を行ないながら取り組みを考えていきたいと思えます。

(ケ) 健康診断

今年度も新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、多摩小平保健所での健康診断は実施されませんでした。法人の提携病院に協力してもらい健康診断を実施しました。検査項目が少ないなど課題はありますが3年ぶりに受診でき利用者の健康状態を確認できました。

ク. 消防報告

避難訓練は計画的に取り組みました。通報訓練でパートスタッフに電話の使い方を周知することが出来ました。

ケ. 活動の報告

(ア) 1日

時 間	利用者	スタッフ
8 : 3 0		朝礼
8 : 4 0		送迎開始
9 : 3 0	受け入れ開始	準備・会議等
10 : 0 0	朝の会・ラジオ体操 室内作業 外作業 (休憩)	活動支援
	室内作業 外作業	昼食準備
1 2 : 0 0	昼食・休憩	昼食・昼食支援 片付け・休憩
1 3 : 3 0	室内作業 外作業 (休憩)	活動支援
1 5 : 0 0	室内作業 外作業 帰りの会	送迎
1 6 : 0 0	送迎	片付け・清掃・会議
1 7 : 0 0		終礼

(イ) 1週間

	月	火	水	木	金
午前	・外作業 ・室内作業	・外作業 ・室内作業	・外作業 ・室内作業	・外作業 ・室内作業	・外作業 ・室内作業
午後	・外作業 ・室内作業	・外作業 ・室内作業	・外作業 ・室内作業	・外作業 ・室内作業	・外作業 ・室内作業

- ・外作業…資源回収、広報配布、ウォーキング、缶つぶし、パック整理・卸し
 - ・室内作業…広報折り、創作活動(陶芸・絵画・手芸)、マッサージ、体操、足浴
- ※プール・調理活動は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。

(ウ) 1年間

月	事業所内の行事	地域などの行事
4月		
5月		
6月		
7月	※きょうされん夏季販売・お茶販売 ・日本財団 DIVERSITY IN ARTS 公募展応募	いのちかがやけ作品展
8月		
9月		
10月	・日帰り旅行 ・新型コロナウイルスワクチン 巡回接種	きょうされん全国大会
11月	※きょうされん冬季販売・お茶販売 ・「わたしたちの作品展」 ※販売会 ・インフルエンザ予防接種 ・利用者健康診断または特定検診	
12月		
1月	※きょうされんバレンタイン販売	
2月		ぴゅああーと展
3月	ボーナス支給	

- ・毎月1回…レクリエーション、自治会、体重血圧測定、避難訓練、給料日
- ・日帰り旅行…掬水亭ランチ&多摩湖散策
- ※利用者ボーナスの取り組み

2. 生活部門

(1) 重点課題

1) 余暇

誕生日会やクリスマス会を実施して、暮らしのなかに利用者が楽しむことができるよう取り組んでいきました。

2) 食事

食事宅配業者との打ち合わせやメニューの変更等を含めて検討していく計画でしたが、具体的な動きが作れませんでした。引き続き検討していきます。

食事環境を改めて見直して食器の買い替えやテーブルの変更など具体的な支援につなぐことができました。

3) 健康・医療

感染症対策の徹底を全ユニットで行なうことができました。併せて、看護師に各ユニットをラウンドしてもらい、新たな予防対策につなげていくことができました。

4) 防災

防災備蓄品については、寄付品や購入にて揃えています。数量と種類については不十分なので引き続き、実際の災害を想定した備蓄品の洗い出しと整備が必要です。

5) 会議

会議の種類と目的を明確にして、決定事項が達成できているか振り返りもおこなっていきました。法人内の担当者会議への参加が不十分でしたので、シフト作成の工夫など今後の課題です。

6) 地域連携

具体的な動きにつなげられていません。近隣との日頃からのコミュニケーションや施設周辺の美化などを意識して取り組んでいきます。

(2) 各事業所

1) 生活寮そら

ア. 運営状況

(ア) 開所日数 365日

(イ) 在籍者数 28名

イ. 利用者の状況 (2023年3月31日現在)

(ア) 人数構成

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
うみ	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7
そら	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7
にじ	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7
かぜ	6	6	6	6	6	7	7	7	7	7	7	7
合計	27	27	27	27	27	28	28	28	28	28	28	28

(イ) 居住地別

東久留米	東村山	清瀬市	西東京市	合計
24	2	1	1	28

(ウ) 日中活動の場

法人内			法人外		合計
のぞみの家	活動センターかなえ	なかまの家	福祉作業所	一般就労	
14	7	5	1	1	28

(エ) 年齢構成

性別	～30歳	～35歳	～40歳	～45歳	～50歳	51歳以上	計
女			4	3	3	4	14
男		1	3	3	5	2	14
合計		3	5	6	8	6	28
平均年齢	男性 45.2歳			女性 46.0歳			合計 45.6歳

(オ) 障害区分

ア) 手帳

身体障害者 及び 知的障害者		愛の手帳（知的障害）						
		1度	2度	3度	4度	なし	合計	
身体障害者 手帳	1種	1級	1	5	1	3		10
		2級		3				3
		3級						
		4級		1				1
	2種	5級						
	なし		1	10	2	1		14
	合計		2	19	3	4		28

イ) 障害支援区分

	区分6	区分5	区分4	区分3	区分2	区分1	区分なし	合計
合計	23	4					1	28

障害・疾患（医療的ケア）の内容

知的障害 視力障害 聴力障害 てんかん レノックス症候群 自閉症

脳性麻痺による体幹機能障害 ダウン症 小頭症 精神障害 その他

※重度支援加算対象者 15名 ※医療連携加算対象者 1名

ウ) 車いすの使用状況

常時使用		状況により使用		独歩		計
自力移動可	自力移動不可	外出時使用	その他	要介助	独歩	
1	5	1	1	5	15	28

ウ. スタッフの状況 (2023年3月31日現在)

(ア)各会議・打ち合わせ

会議名	参加スタッフ	開催頻度
職員会議	寮長・サビ管・常勤職員・非常勤職員	毎月1回
責任者会議	寮長・サビ管・主任・事務	毎月1回
ユニット会議	寮長・サビ管・常勤職員・非常勤職員	毎月1回
アセスメント・モニタリング	サービス管理責任者・主任・担当職員	随時
日中とのケース会議	担当職員・サビ管	2ヶ月1回

エ. 重点課題

(ア) 生活環境を整えます。

日頃の清掃や整理整頓を行ない、不用品については回収業者に 2 回依頼して処分しました。利用者の生活の場という意識を高く持ちながら環境を整えることができました。

(イ) 加齢に伴う健康・体調の管理を丁寧におこなっていきます。

事業所間の連絡事項を書面や電話での直接的な方法などを併せて行ない、連携の強化をおこなっていきました。通院同行など、医療との連携を図ることができました。

2) にじ・かぜ短期入所

ア. 運営状況

(ア) 開所日数 365日(2名枠)

(イ) 登録者数 13名

イ. 利用者の状況(2023年3月31日現在)

(ア) 人数構成(定員)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
にじ	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
かぜ	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
合計	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2

(イ) 居住地別

東久留米	東村山	清瀬市	西東京市	合計
13	0	0	0	13

(ウ) 日中活動の場

法人内			法人外		合計
のぞみの家	活動センターかなえ	なかまの家	福祉作業所	一般就労	
3	4	6			13

(エ) 年齢構成

性別	～30歳	～35歳	～40歳	～45歳	～50歳	51歳以上	計
女	4	1					
男		5	1	2	1		
合計							
平均年齢	男性 40.2歳			女性 43.0歳			合計 41.6歳

(オ) 障害区分

ア) 手帳

身体障害者 及び 知的障害者		愛の手帳（知的障害）						
		1度	2度	3度	4度	なし	合計	
身体障害者 手帳	1種	1級	1	5	1	3		10
		2級		3				3
		3級						
		4級		1				
	2種	5級						
	なし							
	合計		1	8	2	2		13

イ) 障害支援区分

	区分6	区分5	区分4	区分3	区分2	区分1	区分なし	合計
合計	10	2	1					13

障害・疾患（医療的ケア）の内容

知的障害 視力障害 聴力障害 てんかん レノックス症候群 自閉症

脳性麻痺による体幹機能障害 ダウン症 小頭症 精神障害 その他

(カ) 車いすの使用状況

常時使用		状況により使用		独歩		計
自力移動可	自力移動不可	外出時使用	その他	要介助	独歩	
	2	1	1	4	5	13

ウ. 重点課題

(ア) それぞれの利用者のニーズに沿った支援を行ないます。

食事形態や入浴方法等、個々に合わせて支援していきましました。引継ぎ簿などを活用しながら、スタッフ間で情報共有がおこなえましました。

(イ) 計画相談事業と連携をはかり、新たなニーズの掘り起こしを行ないます。

にじの金曜開所に伴い、受け入れ日数も増やすことができました。利用希望に沿って、宿泊ができるようスタッフ体制を整えていきましました。

(3) 活動の報告

1) 1日

時間	利用者	スタッフ
15:45 16:00	各作業所より帰寮	打ち合わせ・受け入れ準備 送迎受け入れ 賄スタッフ夕食準備
18:00	思い思いに過ごす 入浴 夕食 入浴	配膳・投薬等 入浴介助
21:00	リビング消灯	各書類等記入 就寝支援・事務作業等
6:00 7:00 9:00	起床 朝食 各作業所へ	賄いスタッフ朝食準備 配膳・投薬等 送りだし 掃除・申し送り

2) 1年間

月	利用者	スタッフ
4月		
5月	長期休暇中、日中の楽しみ	健康診断
6月		
7月		モニタリング
8月	お盆中、日中の楽しみ	
9月		
10月		
11月		スタッフ面接実施
12月	クリスマス会	
1月		
2月		個別支援計画更新、健康診断
3月		

3. 余暇・居宅部門

(1) 重点課題

1) 実践会議(パート会議、職員会議を定期的で開催し、利用者の状態・状況を確認し合います。活動前の打ち合わせの際、各グループでの遊びや活動の情報、子ども達の最近の様子を共有していきます。

職員会議は毎月1回開催し、職員間での情報の共有を行ないました。パート会議は開催できませんでしたが、日々意見交換をするなど、連携するように努めました。どこまで情報共有を行なうのかは整理が必要ですが、支援を共有できるようにします。

2) 各学校、子ども家庭支援センター、児童相談所、発達相談室、相談支援部門、医療機関と連携を図ります。

相談支援部門からの依頼を中心に、必要なケースは各関係施設と連携をしました。引き続き、連携を図ります。

3) 家庭環境に課題のあるケースに関してはスピード感をもって関係機関との連携を図り支援していきます。またその際に得た個人情報管理を徹底していきます。

子ども家庭支援センターなど、関係機関からの相談を受け、利用者の受け入れを行ないました。相談支援部門とも連携を図りながら日中一時支援を中心に受け止められるようにします。

4) 障害が発見され悩んでいる父母をフォローし、行き場のない未就学児を積極的に受け入れて対応していきます。他の関係機関とやり取りが必要なケースの場合は速やかに会議を設けていきます。

日中一時支援で未就学児の受け入れを行ないました。引き続き必要であれば受け入れを行ないます。他事業所や相談支援部門とも連携を図りながら、支援をします。

5) 様々な理由で不登校になった子ども達が学校に行きやすい環境を作るまで関係機関と連携していきます。また、安心して過ごせる場を設けていきます。

なかなか学校に通うことができない子どもに対して、安心して過ごせる場として午前中の時間なども受け入れをしました。また、必要であれば家庭への訪問を行ない、このみに来やすい環境づくりも行ないました。電話での呼びかけだけではなかなか出てこられない子に対しても、家庭に訪問することで嬉しそうに来所することができるなど、信頼関係づくりも行なうことができました。引き続き安心できる場所として、不登校の子どもを受け止め、支援します。

6) 引き続き新型コロナウイルス感染予防対策には十分に配慮を行ないマスク、手洗い、検温、消毒を行ないまた定期的な感染予防対策の周知徹底を図ります。

手洗いや消毒、室内の換気など、新型コロナウイルス感染症予防を行ないました。事業所内でも感染などなく過ごすことができました。引き続き密にならないように工夫したり、予防策を徹底したりするなど感染症予防に努めます。

(2) 各事業所

1) 放課後等デイサービス・日中一時・移動支援

ア. 運営状況

(ア) 開所日数 240日

(イ) 在籍者数 36人

イ. 利用者の状況 (2023年3月31日現在)

(ア) 人数構成

<登録者数> 36名(放課後等デイサービス利用者登録数)

25名(日中一時・移動支援利用者登録数)

<1日の活動者数> 10名(放課後等デイサービス)

5名(日中一時：同時サービス利用者数)

移動支援は制限なし

(イ) 居住地別

<利用者居住地> 東久留米市36名

(ウ) 年齢構成(放課後等デイサービス・日中一時・移動支援)

	性別	未就学	小学1	小学3	小学5	中学1~	高校1	成人	合計
		児	~2年	~4年	~6年	3年	~3年		
利用者	男	1	5	6	14	12	8	1	47
	女	0	3	1	1	3	1	5	14
合計		1	8	7	15	15	9	6	61

(エ) 障害区分

ア) 手帳(放課後等デイサービス・日中一時・移動支援)

身体障害者 及び 知的障害者		愛の手帳(知的障害)						
		1度	2度	3度	4度	なし	合計	
身体障害者手帳	1種	1級		2				2
		2級		1				1
		3級			1			1
		4級			1	1		2
		5級						
	2種	1級						
		2級						
		3級			1			1
		4級	1					1
		5級						
	精神2級						2	2
なし		0	12	15	14	10	51	
合計		1	15	18	15	12	61	

イ) 障害支援区分

	区分6	区分5	区分4	区分3	区分2 (該当なし)	区分1 (該当あり)	合計
放課後等デイサービス					7	29	36
合計					7	29	36

障害・疾患(医療的ケア)の内容

知的障害 てんかん レノックス症候群 自閉スペクトラム症 脳性マヒによる体幹機能障害
ダウン症 精神障害 その他

(オ) おもな学校

東京学芸大附属特別支援学校

清瀬特別支援学校

東久留米特別支援学校

東久留米市立神宝小学校

東久留米市立南町小学校 たけのこ学級 ひまわり学級

東久留米市立中央中学校

東久留米市立西中学校

ウ. スタッフの状況 (2023年3月31日現在)

(ア) 各会議・打ち合わせ

会議名	参加スタッフ	開催頻度
職員会議	施設長・正規職員・非常勤職員	毎月1回
アセスメント・モニタリング	施設長・正規職員・非常勤職員	随時
保健・車両・防災	看護師(保健衛生のみ)・担当職員	毎月1回

(イ) 運営体制(延べ人数)

職名	常勤	非常勤	パート	委託	合計	備考
施設長	1				1	
事務			1		1	
支援員	2	1	11		14	
運転手						
看護師						
会計				1	1	
労務士				1	1	
合計	3	1	12	2	18	

エ. 各事業の重点課題

(ア) 放課後等デイサービス

ア) 関係機関と連携し、いつでもやり取りをすることが出来る環境を作ります。

ケース会議に参加し、子どもの他事業所での様子を知るなど情報共有をしました。また、学校や子供支援家庭センターと連携し、必要な情報を共有し、支援しました。

イ) 人との触れ合いの中で、社会性を身に付けながらスタッフと共に成長します。集団での遊びや集団生活を通して、約束やルールを守れるようにします。

コロナ禍のため、集団になるような遊びを積極的に行なうことはできませんでした。子どもたちが遊びの中で自然と集まり、小さな集団で遊ぶ中で、子ども達同士の関わりを作ることができました。

子ども用の PC を購入しました。1 台しかない中で、子どもたち同士で時間を決めて譲り合って使用するなど、約束を守りながら遊ぶことができました。

ウ) 生活していく上でごく普通と思われるような家庭的な活動（昼食作り、おやつ作りなど）を積極的に取り入れていきます。

コロナの影響で昼食作りなどを行なうことができませんでした。今後もコロナ禍が続く中で、どのような形でできるのかを検討し、取り組めるようにします。個別におやつ作りを行なうことができました。衛生面に配慮し、「またやりたい」という気持ちを大切にしながら取り組みました。

エ) 地域の人達と交流ができるように公共施設等に出掛け、行事に参加します。児童館など地域の子供達と遊ぶことができる環境を提供します。

コロナ感染予防のため、公共施設に出かけるなどの活動をする事ができませんでした。行事も“こどもまつり”や“サンサンフェスティバル”など中止になっています。今後開催される場合は参加し、行事を通じて地域との交流ができるようにします。

公園などには積極的に出かけました。その中でそこで遊んでいる小学生などと自然と一緒に遊ぶなど、交流しながら遊ぶことができました。

オ) どのような事態でも安心して活動に参加できるようにします。

避難訓練を開催しました。積み重ねることで自然と行動ができるように積み重ねていきます。BCP を作成しました。緊急時に BCP に沿って行動できるように職員全体で共有していきます。

カ) 誰もが安心して利用できる「放課後等デイサービス」になるように事業所や関係機関とやり取りをおこなっていき情報の交換を行ないます。

放課後連に参加し、放課後等デイサービスの置かれている状況の把握に努めました。引き続き参加します。東久留米市の代表者会議の分科会に参加しました。市内の他事業所との連携をします。

(イ) 移動支援事業

ア) 法人内生活寮の方の支援を安定しておこなえるようにしていきます。

法人生活寮利用者の余暇活動として、移動支援を行ないました。事前に計画し、余暇だけでなく、通院や散髪など生活に必要な支援も行ないました。引き続き、余暇活動の支援として、土曜日の支援を行ないます。

イ) 利用者個々の支援方法を統一化します。

日々の様子や支援内容などパートスタッフを含めて共有し、支援方法の統一化を図りました。引き続き行ないます。

ウ) 支援中での課題に備えてマニュアルやヒヤリハット報告書を各会議などで確認し合います。支援に生かしていきます。

利用者の情報を掲示したり、配布したりすることで共有化を図りました。ヒヤリハットは数が少ないため、作成しやすい環境作りを検討します。

エ) 利用者の将来を見据えての支援をおこなっていきます。

今年度はコロナ禍もあり、公共機関を利用しての移動する機会はありませんでした。

オ) 移動支援をさらに利用しやすくする為に関係機関とやり取りを行ないます。移動という生活の一部を安心・安全・安定に利用できる制度になるように事業所間で集まり情報交換や関係機関とやり取りを行ないます。

移動支援をおこなっている事業所同士で連携し、市との話し合いを行なうなど、移動支援事業の安定した運営が図れるよう取り組みました。引き続き事業所間の連携を密にし、情報交換を行ないます。

(ウ) 日中一時支援事業

ア) 家庭環境に課題のある家族が安心して利用できる場を提供していきます。

子ども家庭支援センターから個別のケースの依頼を受け、日中一時支援での受け入れを行ないました。引き続き関係機関との連携を図りながら、受け入れの体制を作れるようにします。

イ) 利用者個々の支援方法を統一化していきます。

支援の統一化を図れるよう、支援方法の変更など掲示するなどしてスタッフ間での共有化を図りました。ケース記録の残し方があいまいになってしまっています。記録の残し方も統一し、より情報共有が図れるよう検討します。

ウ) 日中一時支援をさらに利用しやすくする為に関係機関とやり取りを行ないます。

日中一時支援をおこなっている事業所同士で連携し、市との話し合いを行なうなど安定した運営が図れるよう取り組みました。引き続き連携を密にし、情報交換を行ないます。

午前中は不登校の子を受け入れるなど、安心して過ごせる場として提供しました。登校に向けた支援や、気持ちを落ち着けられる支援を行なうなど、引き続き利用する子どもたちに寄り添いながら、支援します。

エ) 日中一時利用に関して安定した利用ができるように、定期的に制度についての説明と依頼表などの申し込み記入を利用者にお願いしていきます。

必要があれば制度について説明し、理解していただけるように努めました。依頼の行き違いがないう、引き続き依頼表などを使用して申し込みをしてもらうようお願いしていきます。

オ. 消防報告

長期休暇中に地震の避難訓練を行ないました。駐車場に一齐に避難するなど、見通しを持って行なうことができました。落ち着いて行動することができるよう定期的に行えるよう計画します。また、火災の避難訓練も計画し、実施します。

カ. 活動の報告

(ア) 1日

授 業 日	13:00～	送迎開始	休 業 日	10:00	活動開始
	13 : 30 ～	活動開始		12:00	お昼
	17:30	あいさつ 送迎		13:30～15:30	午後活動開 始
	18:00	家族お迎え		15:30～	あいさつ 送迎
				16:00	家族お迎え

ゲーム・創作・室内遊び・外遊び

(イ) 1週間

	月	火	水	木	金
午前	(授業日) ・学校 (休業日) ・室内外遊び	(授業日) ・学校 (休業日) ・室内外遊び	(授業日) ・学校 (休業日) ・室内外遊び	(授業日) ・学校 (休業日) ・室内外遊び	(授業日) ・学校 (休業日) ・室内外遊び
午後	(授業日) ・室内遊び ・外遊び ・ウォーキング (休業日) ・室内遊び ・外遊び ・ウォーキング ・プール(夏季 のみ)	(授業日) ・室内遊び ・外遊び ・ウォーキング (休業日) ・室内遊び ・外遊び ・ウォーキング ・プール(夏季 のみ)	(授業日) ・室内遊び ・外遊び ・ウォーキング (休業日) ・室内遊び ・外遊び ・ウォーキング ・プール(夏季 のみ)	(授業日) ・室内遊び ・外遊び ・ウォーキング (休業日) ・室内遊び ・外遊び ・ウォーキング ・プール(夏季 のみ)	(授業日) ・室内遊び ・外遊び ・ウォーキング (休業日) ・室内遊び ・外遊び ・ウォーキング ・プール(夏季 のみ)

(ウ) 1年間

5月	こどもまつり (中止)
7月	清瀬特支夏祭り イリアンソス夏祭り (中止)
8月	夕涼み会 (中止) おひさまサンサンフェスティバル (中止)
9月	いのちかがやけ作品展
10月	他事業所合同ハロウィンパレード ※1
12月	にぎやかカーニバル ※2
3月	ぽかぽか春の集い (中止)

※1 リモートでの開催

※2 事業所としての参加は中止。実行委員として参加

4. 相談部門

実施内容		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
成人	計画	3人	1人	2人	2人	3人	3人	3人
	モニタリング	0人	0人	0人	0人	0人	2人	1人
児童	計画	2人	1人	2人	0人	2人	3人	0人
実施内容		11月	12月	1月	2月	3月	計	
成人	計画	3人	3人	0人	1人	2人	26人	
	モニタリング	2人	3人	3人	1人	2人	14人	
児童	計画	0人	2人	0人	0人	1人	13人	

(1) 重点課題

1) 引き続き法人内事業所の方を中心に計画相談・モニタリングを行ないました。

今年度は9月からモニタリングを進めることができました。計画やモニタリングを自宅に伺ってサービスの状況を聞きながらご本人・家族との信頼関係を少しずつ築いてきました。

・利用者の様子、家庭の状況の変化が福祉制度の範疇を超えていることも多く、できるだけ話を聞きながら、法人全体でできることを検討し行政とも共有してきました。

2) 障害のある方を中心に家族・関係者のつながりを大切にしていきました。

具体的に担当者会議・支援会議等を開催できませんでしたが、それぞれの事業所と利用者のよりよい暮らしづくりに向けて連携しました。

・各福祉施設と連携を取ることでより情報の共有、支援の手がかり、福祉制度の利用状況の確認をすることができました。

3) 相談支援の役割や今後の進め方について

定期的な相談支援部門会議は立ち上げられませんでした。ただきょうされん東京支部相談支援部会に参加することで情報交換を行なう等連携することができました。

(ア)今年度も他の事業所とやり取りをすることができました。学齢期では高等部の方の実習先との連携や学校からの依頼も頻繁にありました。福祉資源の基盤になる部門なので今後の発展につなげていきます。

5. 事務部門

(1) 重点課題

1) 環境の整備を進めます

今年度は、サーバーの入れ替えを行ないました。各事業所で支援記録の入力や各事業所間でメールのやり取りを円滑に進めるため、容量を上げました。また、ルーターも新しいものに替え、情報量を多く送れるようにしました。

2) 事務員の能力向上を進めていきます。

現在使用しているソフトの理解度を深め、能力の向上をしていきます。また、事務関係の研修だけでなく、法人内外で開催されます福祉についての研修にも参加をすることで、仕事の質を高めていきます。作業の効率を上げていくだけでなく、職員間でのコミュニケーションも大事に、より正確な入力作業に努めていきます。そして、引き続き、勤怠ソフトへの移行を進め、どの事業所からも職員の勤怠を管理職が確認できるようにしました。

事務員は事務をするだけでなく、現場との連携が当法人にとって重要なスキルの一つと考えています。日々の作業にとらわれることなく、利用者を中心にした組織を支えていく職員となることを目標にしています。

3) 配置状況

	本部	のぞみ	かなえ	なかま	生活寮	このみ	合計
常勤職員	2 (兼務②)	1 (兼務①)			1 (兼務①)		2
非常勤職員			1	1			2
パート職員		1	1		1	1	4
合計		2	2	1	2	1	8

2022年度 外部研修参加一覧

研修名	主催	参加事業所	参加人数
食品衛生責任者養成講習会	一般社団法人 東京都食品衛生協会	活動センターかなえ	1
サービス管理責任者更新研修	公益財団法人東京都福祉保健財団	なかまの家 活動センターかなえ のぞみの家	3
福祉事業者向けBCP作成講座	東京ガス	活動センターかなえ	1
食品衛生研修	食品衛生協会	なかまの家	1
強度行動障害(基礎) 研修	公益財団法人東京都福祉保健財団	活動センターかなえ	1
強度行動障害(実践) 研修	公益財団法人東京都福祉保健財団	活動センターかなえ	1
新型コロナウイルス感染症防止対策総点検	東京都看護協会	なかまの家	1
強度行動障害支援者養成研修<基礎研修>	スマートキッズ株式会社	なかまの家 のぞみの家	4
強度行動障害支援者養成<実践研修>	スマートキッズ株式会社	なかまの家	2
はじめての社会福祉を学ぶ	東京都社会福祉協議会	なかまの家	1
労働基準法	東京都社会福祉協議会	なかまの家	1
福祉用具(クッション) について	ケープ	なかまの家	6
オムツ着用方法・PT指導について	陽だまり訪問看護ステーション	なかまの家	6
障害のある人の分岐点を読んで	法人内	なかまの家	7
「ICFの理解と活用」入門編	きょうされん東京支部	なかまの家	1
安全運転管理者におけるアルコールチェック義務化について	住友三井オートサービス株式会社	活動センターかなえ	1
睡眠障害と日中の活動	コロロ発達療育センター	活動センターかなえ	1
経営管理者総合研修	きょうされん	活動センターかなえ	1
相談支援従事者現任研修	東京都心身障害者福祉センター	活動センターかなえ	1
インボイス研修	東村山税務署	活動センターかなえ	1
年末調整実務研修会	東村山法人会	活動センターかなえ	1
正しい方法で新型コロナウイルス感染防止対策総点検	東京都看護協会	活動センターかなえ・のぞみの家	2
実践記録とは何か	法人内	活動センターかなえ・なかまの家	11
障害者支援施設における高齢・重度化、強度行動障害への対応を考える	東京都社会福祉協議会	活動センターかなえ・なかまの家	2
社会福祉法人・施設「会計実務<基礎>研修会」	東京都社会福祉協議会	のぞみの家	1
社会福祉事業従事者人権研修【1】	東京都福祉保健局	のぞみの家	3
社会福祉事業従事者人権研修【2】	東京都福祉保健局	のぞみの家	3
福祉職員キャリアパス対応生涯研修 初任者研修	東京都社会福祉協議会	のぞみの家	1
福祉職員キャリアパス対応生涯研修 中堅職員研修	東京都社会福祉協議会	のぞみの家	2
福祉職員キャリアパス対応生涯研修 管理職員研修	東京都社会福祉協議会	のぞみの家	1
重症児者の痰の吸引等医療的ケア支援者養成研修	NPO法人 地域ケアさぼーと研究所	のぞみの家	1
リスクマネジメント研修	東京都社会福祉協議会	のぞみの家	9
きょうされん45t h全国大会in東北・いわて	きょうされん	のぞみの家	2
きょうされんニュースタッフセミナー	きょうされん	のぞみの家	2
重症児者の痰の吸引等医療的ケア支援者養成研修	NPO法人 地域ケアさぼーと研究所	生活寮そら	1
新任職員研修	法人内	生活寮そら	1
障害者グループホーム従事者基礎研修(第1回)	東京都	生活寮そら	8
バフハラ防止について	東京都社会福祉協議会	生活寮そら	1
実践記録とは何か	法人内	生活寮そら	1
障害者グループホーム従事者基礎研修(第2回)	東京都	生活寮そら	4
障害者グループホーム従事者基礎研修(第3回)	東京都	生活寮そら	1
福祉職員キャリアパス対応生涯研修 リーダーシップ研修	東京都社会福祉協議会	生活寮そら	1
重症児者の痰の吸引等医療的ケア支援者養成研修	NPO法人 地域ケアさぼーと研究所	生活寮そら	1
身体拘束0へ	東京都社会福祉協議会	生活寮そら	1
福祉職員キャリアパス対応生涯研修 中堅職員研修	東京都社会福祉協議会	生活寮そら	1
人が成長する任せ方のコツ教えます	全国社会福祉法人経営青年会事務局	生活寮そら	1
個人情報保護について	法人内	生活寮そら	13
どうすればすべての人の権利を守るトップリーダーになれるか	東京都社会福祉協議会	生活寮そら	1
グループホームの虐待防止委員会の効果的な運用について	東京都知的障害者グループホーム運営協議会	生活寮そら	1
働く環境を整え職員が定着し、働きやすい職場をつくる」	東京都社会福祉協議会	生活寮そら	1
きょうされん中堅研修 ICFで実践力を高める	きょうされん	生活寮そら	1
「こころのケガの影響について考える～トラウマ・インフォームドケア～」	東京都社会福祉協議会	生活寮そら	1

